

「珍しい石 ～ナポレオン石～」

ナポレオン石は、佐賀県の天然記念物に指定された大変めずらしく貴重な石です。学術的に正式な名前を「球状閃緑岩（きゅうじょうせんりょくがん）」と呼びます。

このナポレオン石の特徴として、石の中に、直径5～15 cmの不規則なゆがんだ球の模様が見られます。これは、岩の中に、白黒の縞（しま）のふちどられた球が入っているからです。球の縞もよりの部分を球殻（きゅうかく）、その中を内核（ないかく）といいます。

このナポレオン石は、日本では、宮崎県、香川県、福井県、そして佐賀県と、わずかな地域でしか見られません。

佐賀県では、多久市北多久町相の浦地区の1つの沢でしか出てきません。

「ナポレオン石」の名前の由来は、地中海にあるナポレオン1世がうまれたコルシカ島で、はじめて発見されたことから、こうよばれています。

現在は、天然記念物となり、採取することはできません。



多久市児童センターあじさい（旧北部小学校）



多久市役所正面玄関

